

【ワーク①】方針メニュー（中央中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
市民文化系施設	建替え 集約化	公民館については建替えが必要になった時点で集約化を検討する。また、建替えや集約化の際に子どもが遊べる室内施設も併設することを考慮する。 一湊公民館と漁村センターを集約化する。 ふるさと創生会館の中に果樹会館を集約する。	地区公民館については、まちづくりの根幹に係る主要施設であり、また災害時の防災拠点としての機能を有することから、施設の基本性能の維持を図りつつ、他用途の施設との複合化や集約化を検討しながら、地域コミュニティの核、防災拠点として有効活用を図ることとします。 集会所・文化ホールについては、必要面積を確保したうえで、集約化及び複合施設への建替えを検討します。	【鹿屋市】隣接する施設で、重複した事業を行っているものについては、施設の統合を検討するとともに、無償貸付や譲渡等も併せて検討していきます。 【南種子町】中央公民館については、図書館、郷土館の機能も備えており、生涯学習、社会教育の中核をなす町民ニーズが高い施設であり、建物や設備の計画的な修繕・更新を実施しながら、長寿命化に努める。 【宇検村】各施設の利用状況や老朽化の状況等により、その必要性を判断したうえで、統合や廃止について検討します。 【和泊町】劣化が進行しているもので今後も継続利用が必要なものについては、安全性について判断の上、改修等を検討します。
社会教育系施設	集約化	歴史民俗資料館については屋久杉自然館に集約化を検討する。 ※ただし、検討する上で、集約化だけでなく各施設をめぐる仕掛けづくりなどの見せ方の工夫をすることも考慮する。	歴史民俗資料館、平内民具倉庫ともに長寿命化改修及び建替えの時期が到来しています。 屋久杉自然館に隣接整備することで、環境省世界自然遺産センター及び屋久島環境文化研修センターとの連携を強化し、より利用者ニーズに応えた施設整備を図ります。	【阿久根市】図書館は、既に耐用年数を超過し、郷土資料館も築30年超と古い施設である。策定した公共施設等個別施設計画に沿った建物性能の改善や、他施設との統合・複合化等の検討を行う。 【薩摩川内市】利用率を高めるため他の施設の空きスペースへの機能集約を行います。機能集約にあたり、分館については図書コーナーとして再配置するなど効率化についても検討します。 【与論町】建物の劣化及び機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。指定管理制度の導入により、人件費の削減、コストの削減につなげられないか検討します。スペースが確保できれば、子育て支援や福祉の機能も取り込むなど、多くの人々が利用でき、子供とお年寄りを相互に見守りができる交流拠点としての活用等も期待できます。
スポーツ・レクリエーション施設	複合化 廃止	屋久島勤労者体育センターと離島開発総合センターは複合化（仮称多目的アリーナ）し、文化ホール機能に重点を置く。※総合体育館としての機能が必要な場合は安房体育館を使用する。 青少年研修センターは耐用年数が過ぎた時点で廃止する。	町内に2つある同種のスポーツ施設に関しては、既存施設が使用可能な限り使用し、両施設が使用不可能または、大規模改修が必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。 レクリエーション施設・観光施設については、建替えや主要設備の更新時期に従い、利用の状況や適正配置を考慮したうえで方針を決定します。	【鹿屋市】各地域に点在している体育館、グラウンド等について種目に特化したアピールポイントなどを明確化し個別具体的な整理を行っていくとともに、著しく利用者が少ない施設や利用者に偏りがある施設については、積極的に廃止や貸与、譲渡等を検討します。 【出水市】機能が重複している施設が多いことから、コストや老朽化の状況を考慮して統廃合を進める。また、体育館等学校施設との共用化が可能な施設については、児童生徒の学習環境に配慮しながら、積極的に共用化を進める。 【東串良町】定期的な点検と計画的保全により長寿命化を図る。また、運営コストを抑え、質の高いサービスの提供を図るため、サービス内容や運営手法の見直しを進める。
産業系施設	建替え 廃止	長峰牧場については老朽化の進んでいる部分から建替えを行う。 楠川荒茶加工施設や木材加工センターについては大規模改修が必要になった時点で廃止を検討する。ただし、施設内設備については今後も使用できるものは移動させる。	本町における産業振興や環境保全において重要な施設であるため、存続は不可欠ではありますが、民間への移譲、管理委託について、積極的に検討していきます。また、施設の老朽化に伴い建替えが必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。	【枕崎市】妙見センターは、農業用研修施設として利用者も多く、また災害時の避難所にも指定されています。堆肥センターは、指定管理制度の対象施設であり、農業用施設として今後一定の利用が見込める施設です。両施設について当面は、予防保全型の維持管理による長寿命化を図ります。 【指宿市】各施設の設置目的や必要性などを整理した上で、他の類似施設への機能集約や統廃合を含めた検討を行います。 【西之表市】今後も継続的に維持する施設は、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。直営の必要性等の検証を行い、指定管理者制度の導入など、民間活力の活用を視野に入れた効率的な維持管理・運営方策を検討します。
学校教育系施設	長寿命化 集約化	学校施設については長寿命化を行い、継続して使用する。ただし、避難所としての観点より、低所地にある学校については高所地への移転も検討する。また、児童数の現象の著しい学校については集約化についても検討を行う。 学校給食センターについては町全体を考慮し集約化を行い、民営化の可能性についても検討する。	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。生徒数が減少することを考慮すると、小中一貫校制度等の導入も視野に入れて長期的な計画を立てていきます。	【霧島市】中山間地域における少子化は更に進むことが予想されることから、そのような中で、子どもの教育環境の改善を最優先に考え、統廃合による規模の適正化、適正配置に係る検討を行います。また、市街地における過大規模校対策として、今後も施設の増築、校区見直しなどの検討を行います。 【垂水市】非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。また、耐用年数や施設の利用状況等を勘案したうえで、改築・長寿命化改良・修繕等を計画的に実施し、トータルコストの抑制に努めます。その他、トイレの洋式化やバリアフリー等を検討し、児童・生徒や施設利用者への利用環境の改善に努めます。 【和泊町】少子化に伴い発生する各学校の空き教室の利用方法を検討します。
子育て支援系施設	-	-	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。園舎は鉄骨造で48年が経過しており、全体的な老朽化が著しく、建替えの時期について検討を進める必要があります。検討事項には、公立幼稚園としてのあり方について、今後40年程度の長期的視点を持った慎重な検討が必要となります。	【日置市】将来の人口動向も考慮のうえ、施設の統廃合・複合化の検討を行うとともに、民営化が可能な場合は民営化を検討します。 【伊仙町】園児の安全な保育ができる環境を維持することを第一優先として、必要に応じた施設改修・修繕を行います。診断の受診及び施設の改修を計画的に進めます。子ども・子育て支援新制度や年少人口の動向を注視し、町全体の保育需要に対応できるよう、運営主体、運営方法など様々な視点から幼稚園等のあり方や適正配置を検討していきます。 【和泊町】利用者（園児）は減少傾向ですが、0～1歳の低年齢児の入所希望が増えており、保育士有資格者の確保等の課題もあるため、今後の人口の推移によっては統合集約及び改修を検討します。

【ワーク①】方針メニュー（中央中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
保健・福祉施設	集約化	宮之浦保健センターについては大規模改修が必要になった時点で縄文の苑に集約する。ランニングコストを考慮し判断の早期化を図る。	保健福祉施設については、まず既存施設を有効活用し、施設を新たに建設することなくサービスを充実させる対策について検討していきます。また、施設の老朽化が進んでいる箇所については、バリアフリー化なども視野に入れながら修繕等を計画して行き安心安全な施設とします。	<p>【鹿児島市】建替えにあたっては、学校施設等との複合化を検討し、市民ニーズや地域特性に応じた施設配置を進めます。</p> <p>【いちき串木野市】老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。</p> <p>【南大隅町】老朽化が著しい施設については、利用状況や、代替機能の可能性など勘案し、建て替え時にはサイズを縮小するなどして総量圧縮につなげます。公有財産として保有する必然性が低い施設については、積極的に民営化等を検討するものとします。</p>
医療施設	長寿命化	永田へき地出張診療所については長寿命化を行い、継続して使用する。	町民の医療確保のためそれぞれ診療所を開設しています。地理的状況等を鑑み施設を設置していることから、新たに設置箇所を増やすことなく、地域住民の医療確保に努めます。また、地域住民の生命・健康を守る拠点施設であることから、施設の老朽化が進んでいる箇所については、改修等の年次計画を立て、大規模な改修にならないよう延命対策を実施し、より長期間使える安全・安心な施設管理を行います。	<p>【出水市】旧大川内診療所は、倉庫等としての機能の廃止とともに解体し、跡地の活用を検討する。野田診療所は、診療に不要なスペースを特定し、解体等を検討する。</p> <p>【始良市】へき地医療を守る必要性から、コスト削減策を講じながら、施設の長寿命化を図る。</p> <p>【瀬戸内町】いずれも建設から30年以上が経過しているため、点検・診断により修繕等が必要となった場合は、適正に対処し維持管理を行っていきます。</p> <p>【十島村】施設のお大半が築後 20～30 年程経過しており、老朽化が見受けられる時期を迎えているため、計画的な修繕により施設の長寿命化を図ります。</p>
行政系施設	長寿命化複合化	本庁舎及び本庁書庫・倉庫については、長期間持続可能な施設運用する。また、宮之浦出張所は縄文の苑に複合化する。消防車庫は、災害時などの迅速な対応のため統合はせずに、長期間持続可能な施設運用する。	本庁舎及び出張所については、保守点検・修繕・清掃等、計画的な保全対策を実施することで、長期間持続可能な施設運用とします。消防車庫は、劣化状況に従い外部を中心に大規模改修を施しますが、建替えが必要と判断された場合は、同一分団内での統合を原則とし、必要面積を確保したうえで消防施設全体の延べ面積が増加しないように建替えます。	<p>【鹿屋市】本庁については、多くの市民が利用することや災害時の拠点となることなどから、長期修繕計画に基づいた計画的な修繕等により長寿命化を図ります。また、各地域の総合支所については、定期的な点検等により劣化や損傷を把握し、施設のあり方も含め検討していきます。また、サービス内容の見直し等により生じる空きスペースを活用していくこととします。消防施設については、計画的な予防的修繕等による長寿命化を図るとともに、施設の集約化を検討します。</p> <p>【南さつま市】地域の拠点施設としての役割を考慮し、複合的な施設を人口の推移や地域の実情を踏まえ検討します。併せて未利用施設の活用についても検討します。</p> <p>【肝付町】基本的に経過年数が 31 年以上経過した建物については、大規模改修を行わず、維持修繕等で対応していきますが、北方分団詰所については、早い時期に建替えを行います。</p>
公営住宅	その他	基本的には公営住宅等長寿命化計画に基づき整備を行い、また、空き家の利活用についても推進する。	公営住宅等長寿命化計画に基づき、整備を行います。	<p>【枕崎市】維持する住宅においては、定期的に点検を行い、外壁改修や屋根防水などの予防保全型の維持管理による長寿命化を図っていきます。建替えについては、今後の人口減少に伴う需要の減少、空き家の増加などの社会情勢を踏まえながら、地域のバランスを考慮した適正な住宅の供給を行っていきます。</p> <p>【出水市】公営住宅等長寿命化計画に基づき統廃合を進めるとともに、民間借上住宅への移行を検討する。</p> <p>【西之表市】老朽化が激しい住棟については、入居者の需要と供給のバランスを考慮しつつ、建替え更新、廃止等を検討します。建替え更新に際しては、耐久性や耐震性、維持管理の容易性に優れ、環境負荷を低減する仕様とし、誰もが安全・安心に生活できる住まいづくりを推進します。また、コミュニティ ミックスの考え方を導入し、多様なコミュニティが形成されるように配慮します。</p>
供給処理施設	建替え廃止	耐用年数が過ぎた時点で建替えを行う。（屋久島クリーンセンターについては規模縮小して建替え）旧ゴミ処理場（宮之浦）は場内整理が終了次第、廃止する。	建築年次等に応じて計画的に、改修や建替えを行います。旧ごみ処理場は稼働停止しており、改修等は今後行いません。	<p>【薩摩川内市】川内クリーンセンターは長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を行います。施設の建替えが必要な場合は PPP/PFI を活用した事業手法を検討します。甕島地域のストックヤード（仮置き場）は集約化を検討します。下甕環境センターは廃止を検討します。廃止基準を満たしている最終処分場は廃止手続きを行います。</p> <p>【日置市】計画的な点検や修繕等により、予防保全型の維持管理を実施し、施設の安全性・機能性を確保するとともに、長寿命化を図ります。</p> <p>【西之表市】今後も継続的に維持する施設として、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。</p>
その他	廃止	使っていない施設については解体をすすめる。一奏診療所については廃止し、訪問診療もしくはバスでの病院への巡回を促進する。旧一湊中学校については体育館は解体を行い、校舎についても耐用年数が過ぎた時点で解体の検討を行う。	旧支所庁舎は、耐震性が確保されておらず劣化状況も著しいことから、財源が確保できる令和4年度までに除却します。また、跡地は地域の中心部に位置する大規模公共用地であることから、新たなにぎわい創出のための施策について、地域と十分に協議しながら検討していきます。定住促進住宅については、長期間使えるように計画的な修繕を施します。その他の単独住宅については、旧教職員住宅等を転用したもので築40年以上が経過しており、良好な住環境の提供が難しいことから、退居に合わせて順次解体します。	<p>【垂水市】比較的新しい施設については、定期的な点検を行い、適正な維持管理に努めます。倉庫や利用率の低い建物については、施設の老朽化、利用状況に応じて、施設の廃止等の検討をします。</p> <p>【南大隅町】公有財産として保有する必然性が低い施設については、取り壊し・売却等を検討し、公有財産の保有総量圧縮を検討します。施設の維持管理にかかるコスト削減に努めます。</p> <p>【与論町】老朽化により利用できない施設については取り壊しを行い、敷地の売却等有効利用を検討します。建築後30年を経過している施設については、改修や修繕が必要な箇所の有無を確認します。公衆便所については、台風・塩害により通常の建物よりも劣化が早い傾向がありますので対応策を検討します。建物の機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。</p>

【ワーク②】再配置優先順位（中央中学校区）

	～R6（第1期）	R7～R10（第2期）	R11～R13（第3期）	R14～R16（第4期）
建替え	・屋久島クリーンサポートセンター	・多目的アリーナ（仮称） ・宮浦小学校		・町民すこやかふれあいセンター ・福祉センター【こまどり館】
長寿命化		・宮之浦公民館	・中央分団消防車庫 ・志戸子消防車庫 ・小瀬田消防車庫 ・長峰消防車庫	・吉田地区コミュニティセンター ・中央中学校 ・小瀬田小学校
大規模改修	・永田公民館（避難所は別の施設で設置する）	・福祉センター【縄文の苑】（縄文の苑の改修を第2期に行い、その際に宮之浦出張所機能と宮之浦保健センターの機能も移転する）		
複合化集約化	・一湊公民館 ・漁村センター	・歴史民俗資料館（集約化または機能移転の検討）	・給食共同調理場	・永田小学校 ・一湊小学校 （児童数の確認等を行い、集約化を検討する）
規模縮小			・屋久島クリーンセンター（建替えを行う際に建物規模の縮小を検討する）	
用途変更	・僻地診療所医師住宅【旧一湊診療所】（リフォームして公営住宅として運用する）			
廃止（解体）（民营化）	・旧一湊中学校	・屋久島クリーンサポートセンター（一部除却）		・青少年研修センター ・旧ゴミ処理場【宮之浦】
その他	・総合自然公園（経営改善） ・総合自然公園温泉【ゆのこのゆ】（経営改善） ・一湊農林漁家高齢者センター【大浦の湯】（経営改善） ・一湊海水浴場（経営改善）			
町全体に関わる金額	約31.0億円 ／ 更新に使える金額33.0億円	約21.5億円 ／ 更新に使える金額27.0億円	約16.5億円 ／ 更新に使える金額20.0円	約10.0億円 ／ 更新に使える金額16.0億円
更新金額（概算）	約1.9億円 ／ 地域ごとに使える残り金額 1.0億円	約14.6億円 ／ 地域ごとに使える残り金額2.5億円	約0.6億円 ／ 地域ごとに使える残り金額1.5億円	約12.4億円 ／ 地域ごとに使える残り金額2.0億円

※赤文字にしているのは町全体に関わる施設です。

※地域ごとの金額については目安のために設定した概算です。実際の金額については改めて算出します。

【ワーク①】方針メニュー（安房中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
市民文化系施設	建替え 複合化	公民館は基本的には各集落に残すが、建替え時には高台への移転や他施設への複合化についても検討する。	地区公民館については、まちづくりの根幹に係る主要施設であり、また災害時の防災拠点としての機能を有することから、施設の基本性能の維持を図りつつ、他用途の施設との複合化や集約化を検討しながら、地域コミュニティの核、防災拠点として有効活用を図ることとします。 集会所・文化ホールについては、必要面積を確保したうえで、集約化及び複合施設への建替えを検討します。	【鹿屋市】隣接する施設で、重複した事業を行っているものについては、施設の統合を検討するとともに、無償貸付や譲渡等も併せて検討していきます。 【南種子町】中央公民館については、図書館、郷土館の機能も備えており、生涯学習、社会教育の中核をなす町民ニーズが高い施設であり、建物や設備の計画的な修繕・更新を実施しながら、長寿命化に努める。 【宇検村】各施設の利用状況や老朽化の状況等により、その必要性を判断したうえで、統合や廃止について検討します。 【和泊町】劣化が進行しているもので今後も継続利用が必要なものについては、安全性について判断の上、改修等を検討します。
社会教育系施設	-	-	歴史民俗資料館、平内民具倉庫ともに長寿命化改修及び建替えの時期が到来しています。 屋久杉自然館に隣接整備することで、環境省世界自然遺産センター及び屋久島環境文化研修センターとの連携を強化し、より利用者ニーズに応えた施設整備を図ります。	【阿久根市】図書館は、既に耐用年数を超過し、郷土資料館も築30年超と古い施設である。策定した公共施設等個別施設計画に沿った建物性能の改善や、他施設との統合・複合化等の検討を行う。 【薩摩川内市】利用率を高めるため他の施設の空きスペースへの機能集約を行います。機能集約にあたり、分館については図書コーナーとして再配置するなど効率化についても検討します。 【与論町】建物の劣化及び機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。指定管理制度の導入により、人件費の削減、コストの削減につなげられないか検討します。スペースが確保できれば、子育て支援や福祉の機能も取り込むなど、多くの人が利用でき、子供とお年寄りを相互に見守りができる交流拠点としての活用等も期待できます。
エス ポ シ ョ ン ・ 系 レ シ ュ ー 施 設	建替え 民営化	観光・スポーツレクリエーション施設については長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。 商業関連施設や屋久杉の館等については、民間事業者への所有権移転を検討する。	町内に2つある同種のスポーツ施設に関しては、既存施設が使用可能な限り使用し、両施設が使用不可能または、大規模改修が必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。 レクリエーション施設・観光施設については、建替えや主要設備の更新時期に従い、利用の状況や適正配置を考慮したうえで方針を決定します。	【鹿屋市】各地域に点在している体育館、グラウンド等について種目に特化したアピールポイントなどを明確化し個別具体的な整理を行っていくとともに、著しく利用者が少ない施設や利用者に偏りがある施設については、積極的に廃止や貸与、譲渡等を検討します。 【出水市】機能が重複している施設が多いことから、コストや老朽化の状況を考慮して統廃合を進める。また、体育館等学校施設との共用化が可能な施設については、児童生徒の学習環境に配慮しながら、積極的に共用化を進める。 【東串良町】定期的な点検と計画的保全により長寿命化を図る。また、運営コストを抑え、質の高いサービスの提供を図るため、サービス内容や運営手法の見直しを進める。
産業系施設	用途変更 廃止	使っていない施設については廃止し、施設を残す場合は規模縮小や用途変更の検討を行う。	本町における産業振興や環境保全において重要な施設であるため、存続は不可欠ではありますが、民間への移譲、管理委託について、積極的に検討していきます。また、施設の老朽化に伴い建替えが必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。	【枕崎市】妙見センターは、農業用研修施設として利用者も多く、また災害時の避難所にも指定されています。堆肥センターは、指定管理制度の対象施設であり、農業用施設として今後一定の利用が見込める施設です。両施設について当面は、予防保全型の維持管理による長寿命化を図ります。 【指宿市】各施設の設置目的や必要性などを整理した上で、他の類似施設への機能集約や統廃合を含めた検討を行います。 【西之表市】今後も継続的に維持する施設は、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。直営の必要性等の検証を行い、指定管理者制度の導入など、民間活力の活用を視野に入れた効率的な維持管理・運営方策を検討します。
学校教育系施設	長寿命化 建替え	学校や給食センターは絶対に必要な施設のため、長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。生徒数が減少することを考慮すると、小中一貫校制度等の導入も視野に入れて長期的な計画を立てていきます。	【霧島市】中山間地域における少子化は更に進むことが予想されることから、そのような中で、子どもの教育環境の改善を最優先に考え、統廃合による規模の適正化、適正配置に係る検討を行います。また、市街地区域における過大規模校対策として、今後も施設の増築、校区見直しなどの検討を行います。 【垂水市】非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。また、耐用年数や施設の利用状況等を勘案したうえで、改築・長寿命化改良・修繕等を計画的に実施し、トータルコストの抑制に努めます。その他、トイレの洋式化やバリアフリー等を検討し、児童・生徒や施設利用者への利用環境の改善に努めます。 【和泊町】少子化に伴い発生する各学校の空き教室の利用方法を検討します。
子育て支援系施設	-	-	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。園舎は鉄骨造で48年が経過しており、全体的な老朽化が著しく、建替えの時期について検討を進める必要があります。検討事項には、公立幼稚園としてのあり方について、今後40年程度の長期的視点を持った慎重な検討が必要となります。	【日置市】将来の人口動向も考慮のうえ、施設の統廃合・複合化の検討を行うとともに、民営化が可能な場合は民営化を検討します。 【伊仙町】園児の安全な保育ができる環境を維持することを第一優先として、必要に応じた施設改修・修繕を行います。診断の受診及び施設の改修を計画的に進めます。子ども・子育て支援新制度や年少人口の動向を注視し、町全体の保育需要に対応できるよう、運営主体、運営方法など様々な視点から幼稚園等のあり方や適正配置を検討していきます。 【和泊町】利用者（園児）は減少傾向ですが、0～1歳の低年齢児の入所希望が増えており、保育士有資格者の確保等の課題もあるため、今後の人口の推移によっては統合集約及び改修を検討します。

【ワーク①】方針メニュー（安房中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
保健・福祉施設	-	-	<p>保健福祉施設については、まず既存施設を有効活用し、施設を新たに建設することなくサービスを充実させる対策について検討していきます。また、施設の老朽化が進んでいる箇所については、バリアフリー化なども視野に入れながら修繕等を計画して行き安心安全な施設とします。</p>	<p>【鹿児島市】建替えにあたっては、学校施設等との複合化を検討し、市民ニーズや地域特性に応じた施設配置を進めます。 【いちき串木野市】老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。 【南大隅町】老朽化が著しい施設については、利用状況や、代替機能の可能性など勘案し、建て替え時にはサイズを縮小するなどして総量圧縮につなげます。公有財産として保有する必然性が低い施設については、積極的に民営化等を検討するものとします。</p>
医療施設	-	-	<p>町民の医療確保のためそれぞれ診療所を開設しています。地理的状況等を鑑み施設を設置していることから、新たに設置箇所を増やすことなく、地域住民の医療確保に努めます。また、地域住民の生命・健康を守る拠点施設であることから、施設の老朽化が進んでいる箇所については、改修等の年次計画を立て、大規模な改修にならないよう延命対策を実施し、より長期間使える安全・安心な施設管理を行います。</p>	<p>【出水市】旧大川内診療所は、倉庫等としての機能の廃止とともに解体し、跡地の活用を検討する。野田診療所は、診療に不要なスペースを特定し、解体等を検討する。 【始良市】へき地医療を守る必要性から、コスト削減策を講じながら、施設の長寿命化を図る。 【瀬戸内町】いずれも建設から30年以上が経過しているため、点検・診断により修繕等が必要となった場合は、適正に対処し維持管理を行っていきます。 【十島村】施設の大半が築後 20～30 年程経過しており、老朽化が見受けられる時期を迎えているため、計画的な修繕により施設の長寿命化を図ります。</p>
行政系施設	長寿命化複合化	<p>消防車庫については、長期間持続可能な施設運用する。なお、標高が低い位置にある施設については、早めに安全な場所への移転や建替えを検討する。屋久島町総合センターについては利活用の増加させる工夫や複合化の検討を行う。</p>	<p>本庁舎及び出張所については、保守点検・修繕・清掃等、計画的な保全対策を実施することで、長期間持続可能な施設運用とします。消防車庫は、劣化状況に従い外部を中心に大規模改修を施しますが、建替えが必要と判断された場合は、同一分団内での統合を原則とし、必要面積を確保したうえで消防施設全体の延べ面積が増加しないように建替えます。</p>	<p>【鹿屋市】本庁については、多くの市民が利用することや災害時の拠点となることなどから、長期修繕計画に基づいた計画的な修繕等により長寿命化を図ります。また、各地域の総合支所については、定期的な点検等により劣化や損傷を把握し、施設のあり方も含め検討していきます。また、サービス内容の見直し等により生じる空きスペースを活用していくこととします。消防施設については、計画的な予防的修繕等による長寿命化を図るとともに、施設の集約化を検討します。 【南さつま市】地域の拠点施設としての役割を考慮し、複合的な施設を人口の推移や地域の実情を踏まえ検討します。併せて未利用施設の活用についても検討します。 【肝付町】基本的に経過年数が 31 年以上経過した建物については、大規模改修を行わず、維持修繕等で対応していきますが、北方分団詰所については、早い時期に建替えを行います。</p>
公営住宅	大規模改修	<p>現状空き部屋も多いため、制度の見直しを含めた利用状況の改善を推進する。また、若い世代に向けた改修を行う。</p>	<p>公営住宅等長寿命化計画に基づき、整備を行います。</p>	<p>【枕崎市】維持する住宅においては、定期的に点検を行い、外壁改修や屋根防水などの予防保全型の維持管理による長寿命化を図っていきます。建替えについては、今後の人口減少に伴う需要の減少、空き家の増加などの社会情勢を踏まえながら、地域のバランスを考慮した適正な住宅の供給を行っていきます。 【出水市】公営住宅等長寿命化計画に基づき統廃合を進めるとともに、民間借上住宅への移行を検討する。 【西之表市】老朽化が激しい住棟については、入居者の需要と供給のバランスを考慮しつつ、建替え更新、廃止等を検討します。建替え更新に際しては、耐久性や耐震性、維持管理の容易性に優れ、環境負荷を低減する仕様とし、誰もが安全・安心に生活できる住まいづくりを推進します。また、コミュニティ ミックスの考え方を導入し、多様なコミュニティが形成されるように配慮します。</p>
供給処理施設	-	-	<p>建築年次等に応じて計画的に、改修や建替えを行います。旧ごみ処理場は稼働停止しており、改修等は今後行いません。</p>	<p>【薩摩川内市】川内クリーンセンターは長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を行います。施設の建替えが必要な場合は PPP/PFI を活用した事業手法を検討します。甑島地域のストックヤード（仮置き場）は集約化を検討します。下甑環境センターは廃止を検討します。廃止基準を満たしている最終処分場は廃止手続きを行います。 【日置市】計画的な点検や修繕等により、予防保全型の維持管理を実施し、施設の安全性・機能性を確保するとともに、長寿命化を図ります。 【西之表市】今後も継続的に維持する施設として、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。</p>
その他	長寿命化廃止	<p>斎場については、今後も必要な施設であるため長期間持続可能な施設運用する。単独住宅については、空き家となった時点で解体（解体費用を削減するために売却も視野に入れて検討する）して跡地の利活用を推進する。または、定住促進の体験住宅とするなどの検討を行う。</p>	<p>旧支所庁舎は、耐震性が確保されておらず劣化状況も著しいことから、財源が確保できる令和4年度までに除却します。また、跡地は地域の中心部に位置する大規模公共用地であることから、新たなにぎわい創出のための施策について、地域と十分に協議しながら検討していきます。定住促進住宅については、長期間使えるように計画的な修繕を施します。その他の単独住宅については、旧教職員住宅等を転用したもので築40年以上が経過しており、良好な住環境の提供が難しいことから、退居に合わせて順次解体します。</p>	<p>【垂水市】比較的新しい施設については、定期的な点検を行い、適正な維持管理に努めます。倉庫や利用率の低い建物については、施設の老朽化、利用状況に応じて、施設の廃止等の検討をします。 【南大隅町】公有財産として保有する必然性が低い施設については、取り壊し・売却等を検討し、公有財産の保有総量圧縮を検討します。施設の維持管理にかかるコスト削減に努めます。 【与論町】老朽化により利用できない施設については取り壊しを行い、敷地の売却等有効利用を検討します。建築後30年を経過している施設については、改修や修繕が必要な箇所の有無を確認します。公衆便所については、台風・塩害により通常の建物よりも劣化が早い傾向がありますので対応策を検討します。建物の機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。</p>

【ワーク②】再配置優先順位（安房中学校区）

	～R6（第1期）	R7～R10（第2期）	R11～R13（第3期）	R14～R16（第4期）
建替え	・屋久島クリーンサポートセンター	・多目的アリーナ（仮称）	・屋久島クリーンセンター	・町民すこやかふれあいセンター ・福祉センター【縄文の苑】【こまどり館】
長寿命化				
大規模改修	・春牧僻地保健福祉館	・平野公民館 ・永久保生活館 ・竜天消防車庫	・松峯生活館 ・平野消防車庫	・安房消防車庫
複合化集約化			・給食共同調理場	
規模縮小			・【公営住宅】春牧団地（予算に合わせて戸数を調整し、木造での建替えを検討する）	・【公営住宅】第2若宮団地（予算に合わせて戸数を調整し、木造での建替えを検討する）
用途変更				
廃止（解体）（民営化）	・旧法務局跡（売却） ・【単独住宅】安房2号住宅（売却）	・屋久島クリーンサポートセンター（一部除却） ・【単独住宅】安房3号住宅（売却） ・【単独住宅】安房4号住宅（売却） ・体験住宅3号棟（売却）	・安房野球場 トイレ（町営野球場機能は宮之浦野球場へ集約化してトイレも解体） ・倉庫【旧春牧消防車庫】（売却）	・旧山芋貯蔵施設（売却） ・安房弓道場
その他				
町全体に関わる金額	約31.0億円 ／ 更新に使える金額33.0億円	約21.5億円 ／ 更新に使える金額27.0億円	約16.5億円 ／ 更新に使える金額20.0円	約10.0億円 ／ 更新に使える金額16.0億円
更新金額（概算）	約0.3億円 ／ 地域ごとに使える残り金額0.5億円	約0.4億円 ／ 地域ごとに使える残り金額1.5億円	約0.8億円 ／ 地域ごとに使える残り金額1.0億円	約1.8億円 ／ 地域ごとに使える残り金額2.0億円

※赤文字にしているのは町全体に関わる施設です。

※地域ごとの金額については目安のために設定した概算です。実際の金額については改めて算出します。

【ワーク①】方針メニュー（岳南中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
市民文化系施設	大規模改修	住民が集まる場を意識した改修を重点的に行う。（トイレの改修等）	地区公民館については、まちづくりの根幹に係る主要施設であり、また災害時の防災拠点としての機能を有することから、施設の基本性能の維持を図りつつ、他用途の施設との複合化や集約化を検討しながら、地域コミュニティの核、防災拠点として有効活用を図ることとします。 集会所・文化ホールについては、必要面積を確保したうえで、集約化及び複合施設への建替えを検討します。	【鹿屋市】隣接する施設で、重複した事業を行っているものについては、施設の統合を検討するとともに、無償貸付や譲渡等も併せて検討していきます。 【南種子町】中央公民館については、図書館、郷土館の機能も備えており、生涯学習、社会教育の中核をなす町民ニーズが高い施設であり、建物や設備の計画的な修繕・更新を実施しながら、長寿命化に努める。 【宇検村】各施設の利用状況や老朽化の状況等により、その必要性を判断したうえで、統合や廃止について検討します。 【和泊町】劣化が進行しているもので今後も継続利用が必要なものについては、安全性について判断の上、改修等を検討します。
社会教育系施設	複合化	建替え時には他施設への複合化についても検討する。	歴史民俗資料館、平内民具倉庫ともに長寿命化改修及び建替えの時期が到来しています。 屋久杉自然館に隣接整備することで、環境省世界自然遺産センター及び屋久島環境文化研修センターとの連携を強化し、より利用者ニーズに応えた施設整備を図ります。	【阿久根市】図書館は、既に耐用年数を超過し、郷土資料館も築30年超と古い施設である。策定した公共施設等個別施設計画に沿った建物性能の改善や、他施設との統合・複合化等の検討を行う。 【薩摩川内市】利用率を高めるため他の施設の空きスペースへの機能集約を行います。機能集約にあたり、分館については図書コーナーとして再配置するなど効率化についても検討します。 【与論町】建物の劣化及び機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。指定管理制度の導入により、人件費の削減、コストの削減につなげられないか検討します。スペースが確保できれば、子育て支援や福祉の機能も取り込むなど、多くの人が利用でき、子供とお年寄りを相互に見守りができる交流拠点としての活用等も期待できます。
エスポーション系施設	長寿命化	基本的には、長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。 施設の利用状況により、必要に応じて用途変更や廃止を行う。	町内に2つある同種のスポーツ施設に関しては、既存施設が使用可能な限り使用し、両施設が使用不可能または、大規模改修が必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。 レクリエーション施設・観光施設については、建替えや主要設備の更新時期に従い、利用の状況や適正配置を考慮したうえで方針を決定します。	【鹿屋市】各地域に点在している体育館、グラウンド等について種目に特化したアピールポイントなどを明確化し個別具体的な整理を行っていくとともに、著しく利用者が少ない施設や利用者に偏りがある施設については、積極的に廃止や貸与、譲渡等を検討します。 【出水市】機能が重複している施設が多いことから、コストや老朽化の状況を考慮して統廃合を進める。また、体育館等学校施設との共用化が可能な施設については、児童生徒の学習環境に配慮しながら、積極的に共用化を進める。 【東串良町】定期的な点検と計画的保全により長寿命化を図る。また、運営コストを抑え、質の高いサービスの提供を図るため、サービス内容や運営手法の見直しを進める。
産業系施設	大規模改修 廃止	基本的には、長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。 旧と畜場については解体を行う。 中間回廊トイレや尾之間健康広場トイレについては管理方法の見直しを検討する。	本町における産業振興や環境保全において重要な施設であるため、存続は不可欠ではありますが、民間への移譲、管理委託について、積極的に検討していきます。また、施設の老朽化に伴い建替えが必要と判断された場合、まず既存施設との共同利用等の有効利用について検討します。	【枕崎市】妙見センターは、農業用研修施設として利用者も多く、また災害時の避難所にも指定されています。堆肥センターは、指定管理制度の対象施設であり、農業用施設として今後一定の利用が見込める施設です。両施設について当面は、予防保全型の維持管理による長寿命化を図ります。 【指宿市】各施設の設置目的や必要性などを整理した上で、他の類似施設への機能集約や統廃合を含めた検討を行います。 【西之表市】今後も継続的に維持する施設は、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。直営の必要性等の検証を行い、指定管理者制度の導入など、民間活力の活用を視野に入れた効率的な維持管理・運営方策を検討します。
学校教育系施設	長寿命化	学校については長寿命化や持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。また、各小学校にバス停の設置を検討する。 給食調理場についてはリスク回避のため、町内に2か所での運用を検討する。	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。生徒数が減少することを考慮すると、小中一貫校制度等の導入も視野に入れて長期的な計画を立てていきます。	【霧島市】中山間地域における少子化は更に進むことが予想されることから、そのような中で、子どもの教育環境の改善を最優先に考え、統廃合による規模の適正化、適正配置に係る検討を行います。また、市街地地域における過大規模校対策として、今後も施設の増築、校区見直しなどの検討を行います。 【垂水市】非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。また、耐用年数や施設の利用状況等を勘案したうえで、改築・長寿命化改良・修繕等を計画的に実施し、トータルコストの抑制に努めます。その他、トイレの洋式化やバリアフリー等を検討し、児童・生徒や施設利用者への利用環境の改善に努めます。 【和泊町】少子化に伴い発生する各学校の空き教室の利用方法を検討します。
子育て支援系施設	大規模改修	長期間持続可能な施設運用や改修により機能を維持し、必要なタイミングで建替えを行う。	人口将来予測では、令和12年度には、0歳から14歳の人口が、平成27年度比で25%以上減になることが予測されています。園舎は鉄骨造で48年が経過しており、全体的な老朽化が著しく、建替えの時期について検討を進める必要があります。検討事項には、公立幼稚園としてのあり方について、今後40年程度の長期的視点を持った慎重な検討が必要となります。	【日置市】将来の人口動向も考慮のうえ、施設の統廃合・複合化の検討を行うとともに、民営化が可能な場合は民営化を検討します。 【伊仙町】園児の安全な保育ができる環境を維持することを第一優先として、必要に応じた施設改修・修繕を行います。診断の受診及び施設の改修を計画的に進めます。子ども・子育て支援新制度や年少人口の動向を注視し、町全体の保育需要に対応できるよう、運営主体、運営方法など様々な視点から幼稚園等のあり方や適正配置を検討していきます。 【和泊町】利用者（園児）は減少傾向ですが、0～1歳の低年齢児の入所希望が増えており、保育士有資格者の確保等の課題もあるため、今後の人口の推移によっては統合集約及び改修を検討します。

【ワーク①】方針メニュー（岳南中学校区）

施設用途	施設方針メニュー	地域ワークショップの提言	屋久島町の方針	他市町村の方針例（要約）
保健・福祉施設	長寿命化複合化	長期間持続可能な施設運用を行い、建替え時には他施設への複合化についても検討する。	保健福祉施設については、まず既存施設を有効活用し、施設を新たに建設することなくサービスを充実させる対策について検討していきます。また、施設の老朽化が進んでいる箇所については、バリアフリー化なども視野に入れながら修繕等を計画して行き安心安全な施設とします。	<p>【鹿児島市】建替えにあたっては、学校施設等との複合化を検討し、市民ニーズや地域特性に応じた施設配置を進めます。</p> <p>【いちき串木野市】老朽化が著しい施設は、利用状況の検証や将来にわたる利活用の必要性を検討した上で、建替え時に、規模縮小、統合、廃止などを行い、保有総量の縮減を図ります。中長期的な視点から計画的な予防保全型の管理や修繕を行い、施設の長寿命化や維持管理費の縮減を図ります。</p> <p>【南大隅町】老朽化が著しい施設については、利用状況や、代替機能の可能性など勘案し、建て替え時にはサイズを縮小するなどして総量圧縮につなげます。公有財産として保有する必然性が低い施設については、積極的に民営化等を検討するものとします。</p>
医療施設	長寿命化複合化	長期間持続可能な施設運用を行い、建替え時には他施設への複合化についても検討する。	町民の医療確保のためそれぞれ診療所を開設しています。地理的状況等を鑑み施設を設置していることから、新たに設置箇所を増やすことなく、地域住民の医療確保に努めます。また、地域住民の生命・健康を守る拠点施設であることから、施設の老朽化が進んでいる箇所については、改修等の年次計画を立て、大規模な改修にならないよう延命対策を実施し、より長期間使える安全・安心な施設管理を行います。	<p>【出水市】旧大川内診療所は、倉庫等としての機能の廃止とともに解体し、跡地の活用を検討する。野田診療所は、診療に不要なスペースを特定し、解体等を検討する。</p> <p>【始良市】へき地医療を守る必要性から、コスト削減策を講じながら、施設の長寿命化を図る。</p> <p>【瀬戸内町】いずれも建設から30年以上が経過しているため、点検・診断により修繕等が必要となった場合は、適正に対処し維持管理を行っていきます。</p> <p>【十島村】施設のお大半が築後 20～30 年程経過しており、老朽化が見受けられる時期を迎えているため、計画的な修繕により施設の長寿命化を図ります。</p>
行政系施設	長寿命化用途変更	出張所は長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えや複合化の検討を行う。消防車庫は住民の安心のため集落毎に配置し、長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。営農支援センターは利用状況のみ、用途変更の検討を行う。	本庁舎及び出張所については、保守点検・修繕・清掃等、計画的な保全対策を実施することで、長期間持続可能な施設運用とします。消防車庫は、劣化状況に従い外部を中心に大規模改修を施しますが、建替えが必要と判断された場合は、同一分団内での統合を原則とし、必要面積を確保したうえで消防施設全体の延べ面積が増加しないように建替えます。	<p>【鹿屋市】本庁については、多くの市民が利用することや災害時の拠点となることなどから、長期修繕計画に基づいた計画的な修繕等により長寿命化を図ります。また、各地域の総合支所については、定期的な点検等により劣化や損傷を把握し、施設のあり方も含め検討していきます。また、サービス内容の見直し等により生じる空きスペースを活用していくこととします。消防施設については、計画的な予防的修繕等による長寿命化を図るとともに、施設の集約化を検討します。</p> <p>【南さつま市】地域の拠点施設としての役割を考慮し、複合的な施設を人口の推移や地域の実情を踏まえ検討します。併せて未利用施設の活用についても検討します。</p> <p>【肝付町】基本的に経過年数が31年以上経過した建物については、大規模改修を行わず、維持修繕等で対応していきますが、北方分団詰所については、早い時期に建替えを行います。</p>
公営住宅	建替え	老朽化が進んでいるものから利用状況を見て建替えや解体の検討を行う。ただし、移住したい方の体験住宅は必要なため、解体を選択した場合は空き家活用等の代替案の検討を行う。	公営住宅等長寿命化計画に基づき、整備を行います。	<p>【枕崎市】維持する住宅においては、定期的に点検を行い、外壁改修や屋根防水などの予防保全型の維持管理による長寿命化を図っていきます。建替えについては、今後の人口減少に伴う需要の減少、空き家の増加などの社会情勢を踏まえながら、地域のバランスを考慮した適正な住宅の供給を行っていきます。</p> <p>【出水市】公営住宅等長寿命化計画に基づき統廃合を進めるとともに、民間借上住宅への移行を検討する。</p> <p>【西之表市】老朽化が激しい住棟については、入居者の需要と供給のバランスを考慮しつつ、建替え更新、廃止等を検討します。建替え更新に際しては、耐久性や耐震性、維持管理の容易性に優れ、環境負荷を低減する仕様とし、誰もが安全・安心に生活できる住まいづくりを推進します。また、コミュニティミックスの考え方を導入し、多様なコミュニティが形成されるように配慮します。</p>
供給処理施設	大規模改修	生ごみの肥料化や、ごみ処理などで発生した熱を2次利用できるようなSDGsの考えを取り入れた施設になるように検討を行う。	建築年次等に応じて計画的に、改修や建替えを行います。旧ごみ処理場は稼働停止しており、改修等は今後行いません。	<p>【薩摩川内市】川内クリーンセンターは長寿命化計画に基づき施設の長寿命化を行います。施設の建替えが必要な場合はPPP/PFIを活用した事業手法を検討します。甕島地域のストックヤード（仮置き場）は集約化を検討します。下甕環境センターは廃止を検討します。廃止基準を満たしている最終処分場は廃止手続きを行います。</p> <p>【日置市】計画的な点検や修繕等により、予防保全型の維持管理を実施し、施設の安全性・機能性を確保するとともに、長寿命化を図ります。</p> <p>【西之表市】今後も継続的に維持する施設として、劣化が進行する前に定期的な点検・診断等を実施する予防保全型の維持管理を実施し、長寿命化型の改修を推進します。これにより、ライフサイクルコストの縮減および整備・保全に関する財政負担の軽減化や平準化を図ります。</p>
その他	長寿命化	住宅については、公営住宅を同一の方針で施設整理を行う。その他の施設は長期間持続可能な施設運用を行い、必要なタイミングで建替えを行う。	旧支所庁舎は、耐震性が確保されておらず劣化状況も著しいことから、財源が確保できる令和4年度までに除却します。また、跡地は地域の中心部に位置する大規模公共用地であることから、新たなにぎわい創出のための施策について、地域と十分に協議しながら検討していきます。定住促進住宅については、長期間使えるように計画的な修繕を施します。その他の単独住宅については、旧教職員住宅等を転用したもので築40年以上が経過しており、良好な住環境の提供が難しいことから、退居に合わせて順次解体します。	<p>【垂水市】比較的新しい施設については、定期的な点検を行い、適正な維持管理に努めます。倉庫や利用率の低い建物については、施設の老朽化、利用状況に応じて、施設の廃止等の検討をします。</p> <p>【南大隅町】公有財産として保有する必然性が低い施設については、取り壊し・売却等を検討し、公有財産の保有総量圧縮を検討します。施設の維持管理にかかるコスト削減に努めます。</p> <p>【与論町】老朽化により利用できない施設については取り壊しを行い、敷地の売却等有効利用を検討します。建築後30年を経過している施設については、改修や修繕が必要な箇所の有無を確認します。公衆便所については、台風・塩害により通常の建物よりも劣化が早い傾向がありますので対応策を検討します。建物の機能低下を早期発見することで維持管理コストを低減するため、点検項目・頻度等について記載したマニュアル等の整備を行い定期点検実施の体制づくりをします。</p>

【ワーク②】再配置優先順位（岳南中学校区）

	～R6（第1期）	R7～R10（第2期）	R11～R13（第3期）	R14～R16（第4期）
建替え	・屋久島クリーンサポートセンター	・多目的アリーナ（仮称） ・中間公民館	・屋久島クリーンセンター ・粟生生活館	・町民すこやかふれあいセンター ・福祉センター【縄文の苑】【こまどり館】
長寿命化				
大規模改修	・原公民館 ・【公営住宅】尾之間団地 ・平内民具倉庫	・湯泊生活館 ・尾之間自然休養村管理センター ・粟生海水浴場 ・中間消防車庫 ・湯泊消防車庫 ・旧粟生中学校	・小島消防車庫 ・麦生消防車庫 ・尾之間消防車庫 ・【公営住宅】粟生団地 ・【公営住宅】原団地	・小島観光農林漁業経営管理施設 ・麦生観光農林漁業経営管理施設 ・鯛之川公衆トイレ ・神山小学校 ・【公営住宅】平内団地 ・高平公民館 ・平内生活館
複合化集約化	・尾之間中央公民館（尾之間保健センターの機能を複合化）		・給食共同調理場（地形などによるリスク分散のため、1つに集約するのではなく、2つ以上での運用を検討する）	
規模縮小			・屋久島青少年旅行村	
用途変更	・営農支援センター			
廃止（解体）（民营化）	・【単独住宅】平内3号住宅 ・旧と畜場【高平】	・屋久島クリーンサポートセンター（一部除却） ・【単独住宅】原2号住宅	・旧ゴミ処理場【尾之間】	・尾之間旧庁舎公衆トイレ
その他				
町全体に関わる金額	約31.0億円 ／ 更新に使える金額33.0億円	約21.5億円 ／ 更新に使える金額27.0億円	約16.5億円 ／ 更新に使える金額20.0円	約10.0億円 ／ 更新に使える金額16.0億円
更新金額（概算）	約2.4億円 ／ 地域ごとに使える残り金額0.5億円	約2.2億円 ／ 地域ごとに使える残り金額1.5億円	約1.9億円 ／ 地域ごとに使える残り金額1.0億円	約3.6億円 ／ 地域ごとに使える残り金額2.0億円

※赤文字にしているのは町全体に関わる施設です。

※地域ごとの金額については目安のために設定した概算です。実際の金額については改めて算出します。